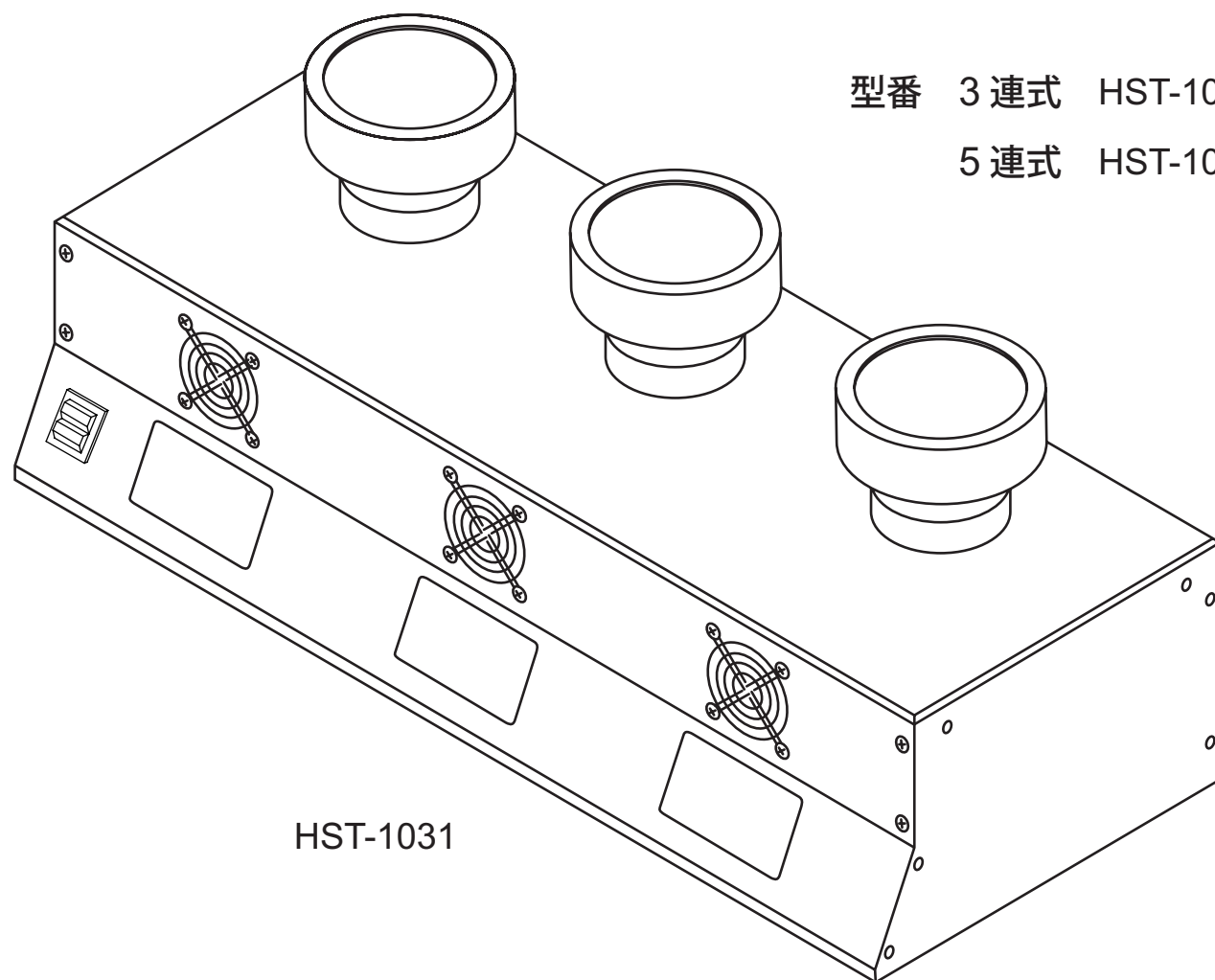


光サイフォンテーブルシリーズ 取扱説明書



型番 3連式 HST-1031

5連式 HST-1051

目次

安全上の注意事項	P1 ~ 2
各部の名称	P3 ~ 4
操作方法	P5 ~ 10
コーヒーを抽出する	P5 ~ 7
加熱時間の設定	P8
抽出時間の設定	P9
抽出時の出力設定	P10
保温時の出力設定	P11
お手入れ	P12 ~ 13
各部のクリーニング方法	P12
ハロゲンランプの交換	P13
故障かな？と思ったら	P14
仕様	P15
製品保証書	本誌裏面

このたびは、光サイフォンシリーズを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解して頂いた上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せる所に、保管しておいてください。

安全上の注意事項

- ご使用前に、この「安全上の注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容

注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例

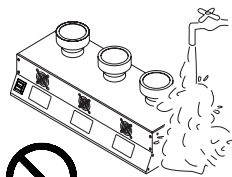


このような絵表示は、禁止行為であることを告げるものです。



このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

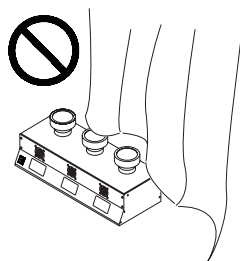


水場使用禁止

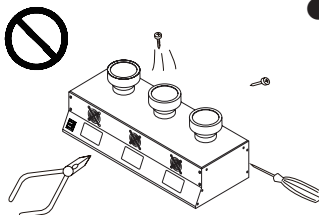
- 本体に直接水をかけない。
感電・故障の原因になります。



- 周囲温度が 40℃以上になる所で使用しない。
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。



- 機器の上や周りには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）のものは置かない。
火災の原因になります。



- 分解・修理・改造は絶対にしない。
感電・火災・けがの原因となります。
故障と思われたときはお買い求め先にご連絡ください。



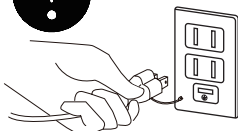
- 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてから使う。

火災の原因になります。



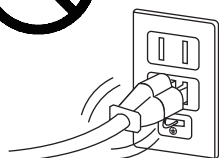
- アース線を確実に取り付ける。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

⚠ 注意



- 電源コードを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして、発火することがあります。



- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電やショートして、発火することがあります。



- スイッチの操作は必ず、指先で行う。

故障の原因になります。



- たこ足配線禁止。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。

感電やショートして、発火することがあります。



- ハロゲンランプを直接見ない。

目を痛めることがあります。



触手禁止

- 使用中や使用直後はガラス・灯体等には触れない。

やけどをするおそれがあります。



- 交流 100V 以外では使用しない。

感電・火災の原因となります。



- 電源は必ず適正配線された 100V15A 以上のコンセントから取る。
5 連式の場合は 100V20A 以上のコンセントから取る。

ブレーカーが作動する等の原因になります。

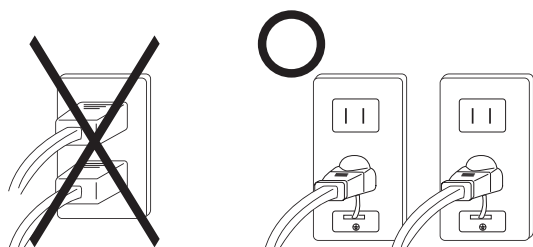


- Y型取付機器の電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくは、その代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない。

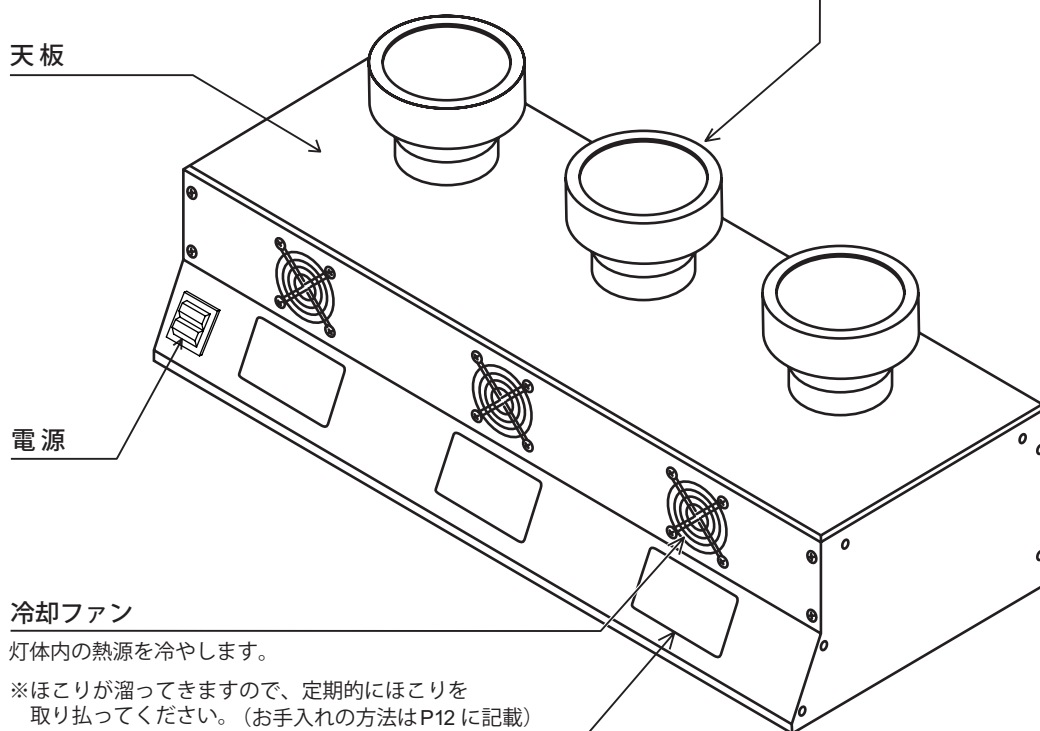
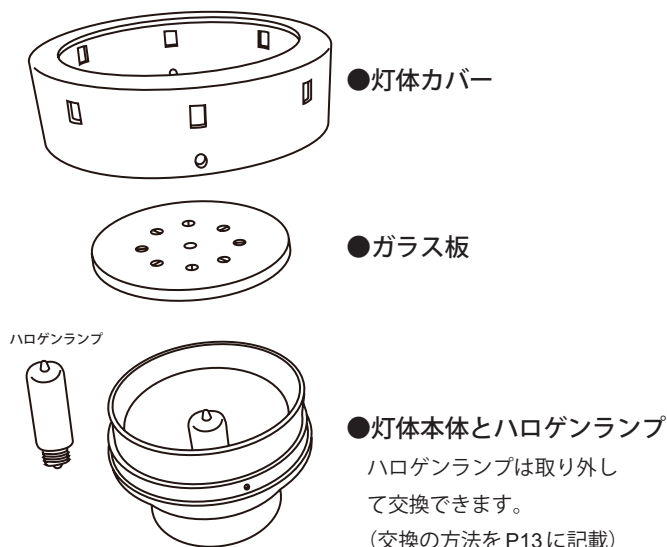
各部の名称

本体

⚠ プラグのさし方注意

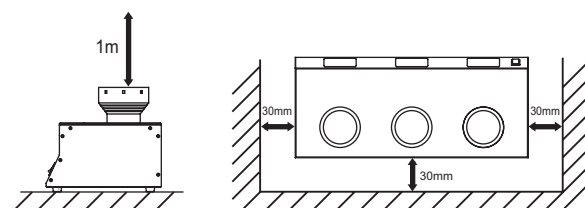


5 連式 HST-1051は、電源プラグが 2 つあります。
1 つのコンセントキャップに 2 つささず、必ず別々のコンセントキャップにさしてご使用ください。
電気容量オーバーでブレーカーが落ちて使用できなくなります。

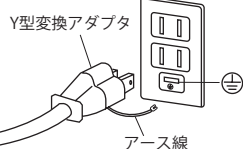


●光サイフォンテーブル設置場所について

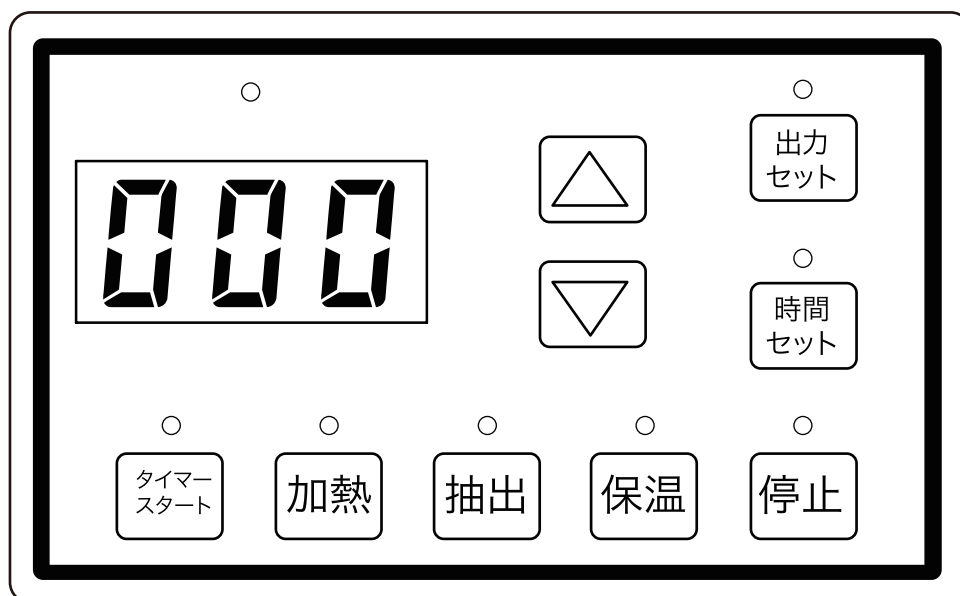
灯体ガラス板より上部1m以上、左右・背面は30mm以上のスペースを取って、水平な場所に設置してください。



この機器の電源コードを Y 型変換アダプタに変更した場合、必ずアース線を接続してご使用ください。



操作パネル

タイマー
スタート

タイマースタートボタン

- ・ボタンを押すとタイマーのカウントが開始されます。

加熱

加熱ボタン

- ・ボタンを押すと出力 100%で加熱します。
加熱時間を設定する場合にも使用します。

抽出

抽出ボタン

- ・抽出の際に使用します。出力、抽出時間を設定する場合にも使用します。

保温

保温ボタン

- ・保温する際に使用します。保温時の出力設定の時にも使用します。

停止

停止ボタン

- ・動作を停止する場合に使用します。

時間
セット

時間セットボタン

- ・加熱時間、抽出時間を設定する場合に使用します。

出力
セット

出力セットボタン

- ・抽出、保温の出力を変更したい場合に使用します。



数値変更ボタン

- ・設定を変更する場合に数値を上げ下げするときに使用します。

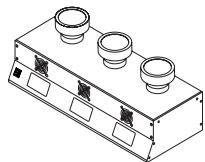


操作方法

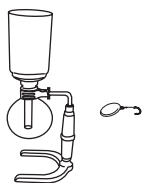
コーヒーを抽出する 1

- コーヒーの抽出を行う際には、あらかじめ「コーヒーを抽出する」の項目をよく読み、作業工程を確かめてから行ってください。

準備するもの



光サイフォンテーブル



サイフォンセット



竹べら

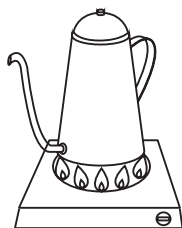


お湯

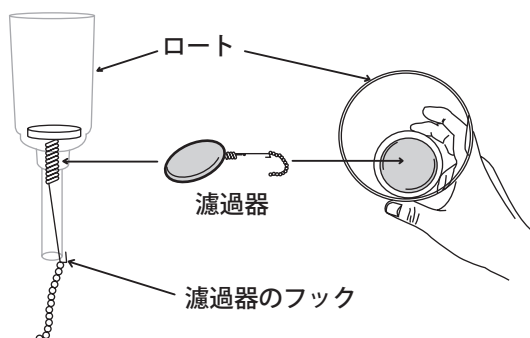


コーヒー粉

抽出を始める前に

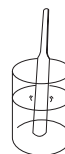
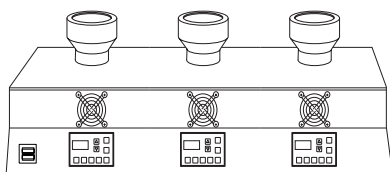


- コーヒーに使用する水を沸騰させておいてください。
光サイフォンテーブルで沸かすこともできますが、沸くまで時間がかかるので、ガスコンロなどで沸かしておいてください。



- 濾過器をロートにセットしてください。
濾過器のフックをロートの先に引っ掛けてください。濾過器がロートの中央にくるように、竹べらで調節してください。

抽出前のセッティング

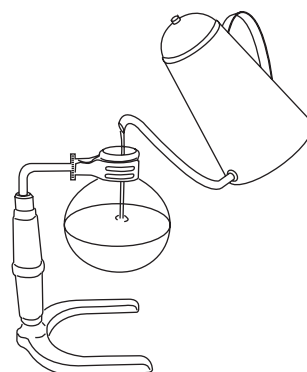


- 濾過器をロートにセットし、フラスコと別々にしておいてください。
- 竹べらは水を張ったコップに浸けておいてください。
- お湯は沸騰した状態のまま保温しておいてください。

コーヒーを抽出する 2

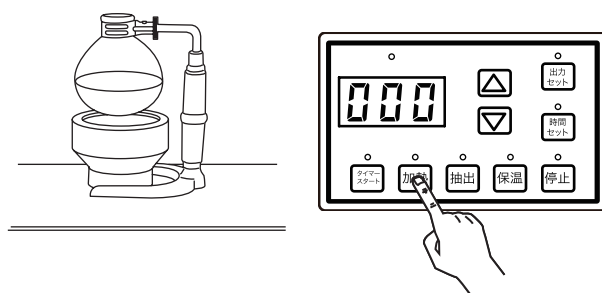
1 お湯をフラスコに入れてください。

一人分 160cc (160cc は目安の数値です)
出来上がり量とコーヒー粉にしみ込む水量分を入れておいてください。



2 光サイフォンテーブルにフラスコを置き、加熱ボタンを押して下さい。

加熱時間の設定ができます。(P8 加熱時間の設定を参照)
※フラスコはお湯を入れてから加熱して下さい。



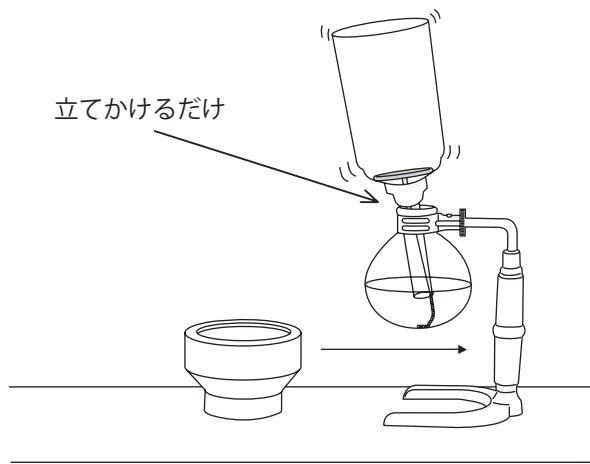
3 一旦、フラスコを灯体から離して、フラスコにロートを立てかけてください。

⚠ 突沸に注意

フラスコ内の熱湯にロートを差し込む際、突沸するおそれがあります。ロートはゆっくり差し込んでください。

まだ、フラスコにロートを差し込まないで、立てかけた状態にしておいてください。
立てかけたらフラスコを熱源に戻してください。

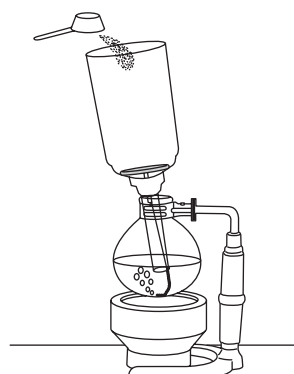
立てかけるだけ



4 お湯が沸いたら、ロートの中にコーヒー粉を入れてください。

フラスコ内にポコポコと水泡が出始めたらお湯は沸いています。

一人分中挽き 15g (15g は目安の数値です)。

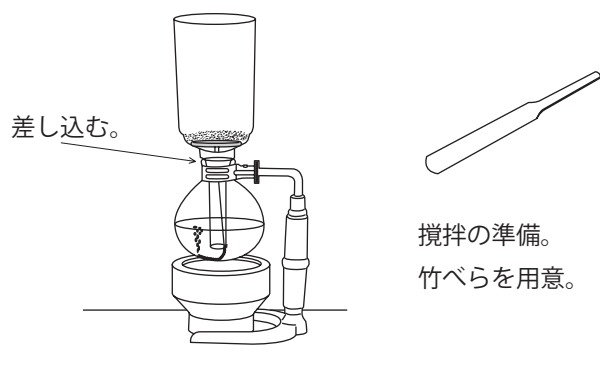


操作方法

コーヒーを抽出する 3

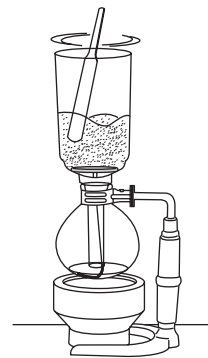
- 5** コーヒー粉を入れたら、ロートをフラスコに軽く差し込んでください。

フラスコを差し込むと、お湯が上がってきますので竹べらを用意して攪拌の準備をしてください。



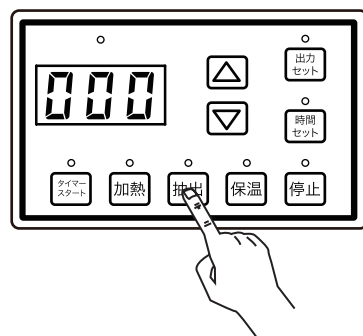
- 6** お湯が上がりきる少し前に、お湯とコーヒー粉を攪拌してください。

※お湯とコーヒー粉がよくなじむように攪拌してください。



- 7** 攪拌後、すぐに抽出ボタンを押してください。

抽出ボタンを押すと操作パネルのモニターが秒数のカウントを始めます。

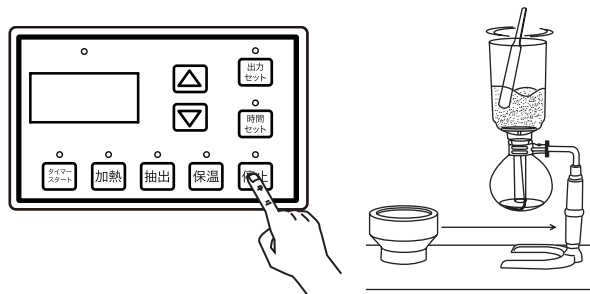


- 8** 抽出ボタンを押してから 25 秒経ったら、「停止ボタン」を押して、灯体からフラスコを離して攪拌してください。

操作パネルのモニターが 25 までカウントしたら停止ボタンを押してください。

(25 秒は目安の数値です。)

※抽出時間を設定することで自動的に電球を切ることもできます。(P9 抽出時間の設定を参照)

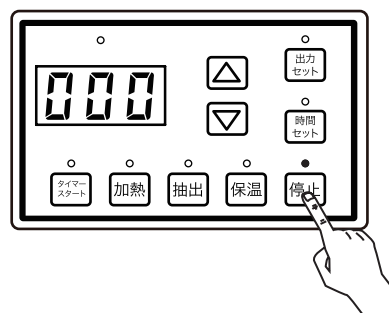


加熱時間の出力設定

- 加熱時間の設定ができます。
初期設定は 480 になっています。

1 停止ボタンを押してください。

停止ボタンの上の LED が点灯していることを確認してください。

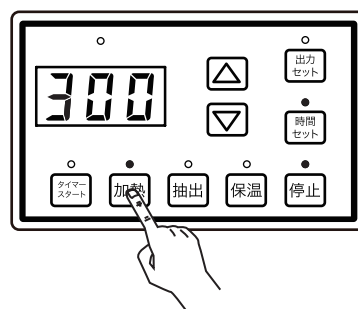


2 時間セットボタンを押してください。

3 加熱ボタンを押してください。

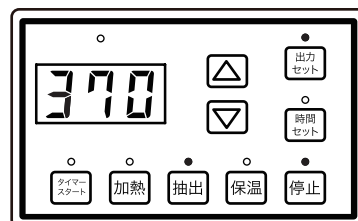
現在の設定抽出時間が表示されます。

加熱ボタンの上の LED が点灯していることを確認してください。



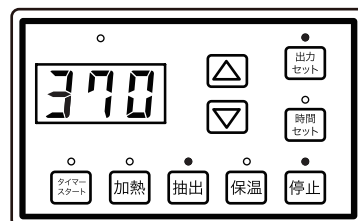
4 を使って、設定したい数値を選択してください。

加熱時間は 1 ～ 600 の範囲で選択できます。



初期設定では、480 になっております。

5 設定したい数値に合わせて停止ボタンを押したら設定終了。



上図で停止ボタンを押すと加熱時間が 370 で設定できます。

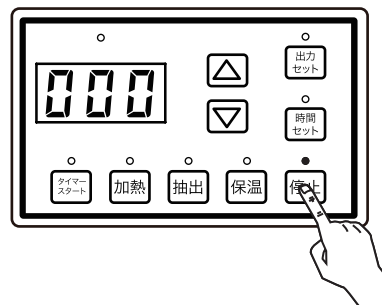
操作方法

抽出時間の設定

- 抽出時間の設定をすることで停止ボタンを押さなくても自動的に抽出を終了することができます。
初期設定は 100 になっています。

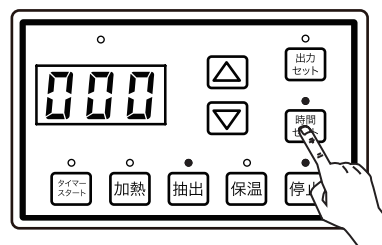
1 停止ボタンを押してください。

停止ボタンの上の LED が点灯していることを確認してください。



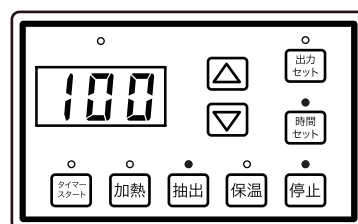
2 時間セットボタンを押してください。

右図のように LED が点灯していることを確認してください。



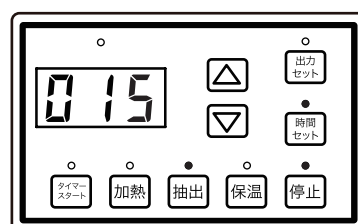
3 を使って、設定したい秒数を選択してください。

1～999 の範囲で選択できます。



初期設定は 100 になっております。

4 設定したい秒数に合わせて停止ボタンを押したら設定終了。



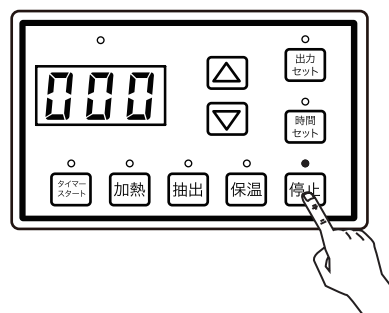
上図で停止ボタンを押すと抽出時間が 15 秒に設定できます。

抽出時の出力設定

- 抽出ボタンを押したときの出力を設定できます。初期設定は 70 になっています。

1 停止ボタンを押してください。

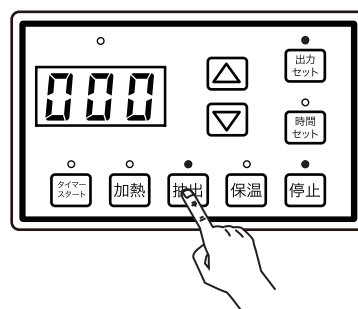
停止ボタンの上の LED が点灯していることを確認してください。



2 出力セットボタンを押してください。

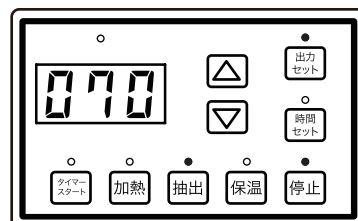
3 抽出ボタンを押してください。

右図のように LED が点灯しているか確認してください。



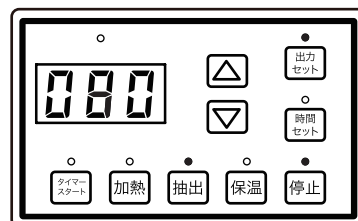
4 を使って、設定したい数値を選択してください。

抽出ボタンでは 15 ～ 99 の範囲で選択できます。出力が低いとコーヒーがフラスコに落ちてしまいますので 70 ～ 80 の範囲での設定をおすすめします。



初期設定では、70 になっています。

5 設定したい数値に合わせて停止ボタンを押したら設定終了。



上図で停止ボタンを押すと抽出時の出力が 80 で設定できます。

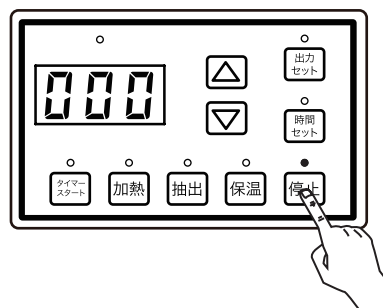
操作方法

保温時の出力設定

- 保温ボタンを押したときの出力を設定できます。
初期設定は 50 になっています。

1 停止ボタンを押してください。

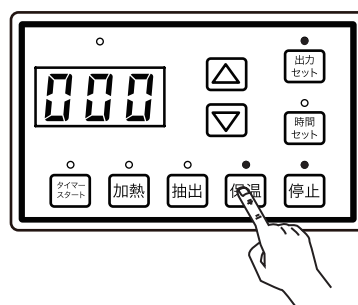
停止ボタンの上の LED が点灯していることを確認してください。



2 出力セットボタンを押してください。

3 保温ボタンを押してください。

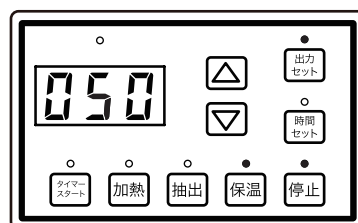
右図のように LED が点灯しているか確認してください。



4 を使って、設定したい数値を選択してください。

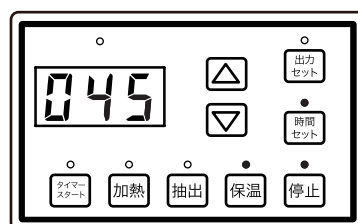
保温ボタンでは 15 ～ 60 の範囲で選択できます。

※数字が高くなると出力が高くなります。



初期設定は、50 になっております。

5 設定したい数値に合わせて停止ボタンを押したら設定終了。



上図で停止ボタンを押すと保温時の出力が 45 で設定できます。

各部のクリーニング方法

- クリーニングは必ず行ってください。
- クリーニングの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いて、機器が冷えた状態で行ってください。
- クリーニングの際には指先に十分注意してください。

※毎日清掃を行ってください。

天板の拭き掃除

天板と側面の板についた、ほこりやコーヒー汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

※毎日清掃を行ってください。

ガラス板の清掃

ガラス板に付いたほこりやコーヒー汚れを拭き取ってください。

ハロゲンランプの交換

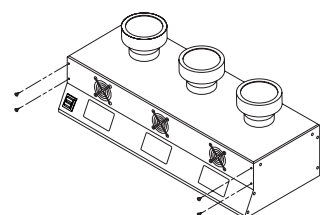
(詳細は P13)

ハロゲンランプが切れましたら交換してください。
交換方法は P13 に記載。

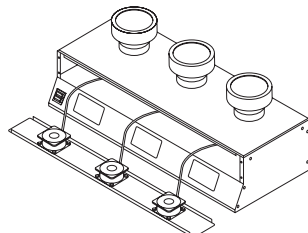
※一週間に 1 度清掃を行ってください。

冷却ファンのほこり取り

清掃前は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、機器が冷えた状態で行ってください。



本体前面の冷却ファンがついているネジ 4 本を＋ドライバーで外します。



冷却ファンが付いている板を手前に引くとファン部ができますので汚れを綿棒などで拭き取り、もとどおりネジ 4 本で固定してください。

お手入れ

ハロゲンランプの交換

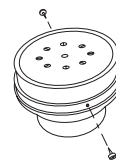
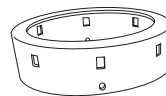


作業前に灯体が十分冷めた事を確認してから交換してください。
灯体が冷めていない状態で交換作業をすると火傷する恐れがあります。

- 1 灯体カバーの2つのネジを取り外してください。



空気穴にネジが入らないように気をつけて取り外してください。



- 2 ガラス板を灯体から取り外してください。

粘着力の低いテープを軽く張り付けて灯体から取り外してください。



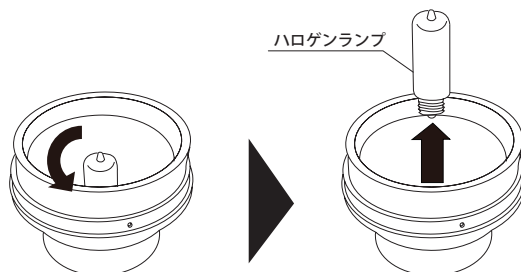
先の尖ったものでガラス板を取ろうとしないでください。

割れたり、水の滴りの原因になります。

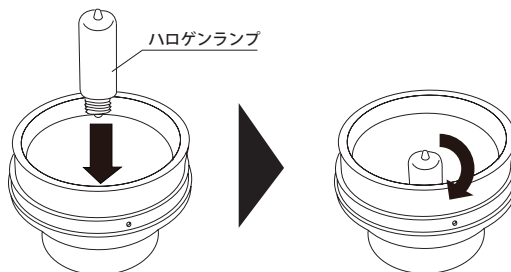


- 3 ハロゲンランプを反時計回りに回転させてください。

ハロゲンランプが取り外せます。



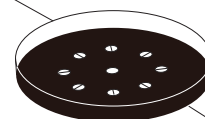
- 4 手袋をして、新しいハロゲンランプを灯体のくぼみ部分に合わせ、時計回りに回してください。



- 5 ガラス板をはめ、灯体カバーを付けて完了。

ガラス板には表裏があります。印刷面を裏にしてはめてください。

表



裏

故障かな？と思ったら

安全上の注意事項

各部の名称

操作方法

お手入れ

故障かな？

仕様

製品保証書

症状	原因と解決方法
電源が入らない	●電源プラグが抜けている可能性があります。電源プラグがささっているか確認してください。 ●電源の容量が不足している可能性があります。電気工事店にご相談ください。
フラスコ内の水が温まらない	●ハロゲンランプが断線している可能性があります。交換してください。(P13 参照) ●電源基盤が故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。 ●パネル基盤が故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。
抽出時にロート内のお湯がフラスコに落ちてしまう	●抽出時の出力が弱い可能性があります。出力が 70 ～ 80 になっているか確認してください。出力が低かった場合、抽出時の出力設定 (P10 参照) で出力を 70 ～ 80 に設定してください。
保温状態のコーヒーがぬるくなる	●保温時の出力が弱い可能性があります。P11 の保温時の出力設定を参考に、出力を現在設定している数値より高くしてみてください。
本体が異常に熱い	●冷却ファンが故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。 ●冷却ファンが汚れている場合は、清掃を行ってください。(P12 参照)
よくブレーカーが落ちる	●適正に配線工事がされていない可能性があります。電気工事店にご相談ください。 ●コードの容量が不足している可能性があります。電気工事店にご連絡ください。 ●又足配線になっていないか確認してください。
コードが熱い	●適正に配線工事がされていない可能性があります。電気工事店にご相談ください。

仕様

安全上の注意事項

各部の名称

操作方法

お手入れ

故障かな？

仕様

製品保証書

製品名	光サイフォン 3 連式	光サイフォン 5 連式
形式	HST-1031	HST-1051
定格電圧	AC100V	
定格消費電力	1065W	1775W
ヒーター	ハロゲンランプ（ハロゲン球：分離タイプ）	
寸法	W650×D265×H250mm	W1050×D265×H250mm
重量	約 11.7kg	約 18.4kg
電源コードの長さ	2m × 1 本	2m × 2 本

安全上の注意事項

各部の名称

操作方法

お手入れ

故障かな？

仕様

製品保証書

Memo

安全上の注意事項

各部の名称

操作方法

お手入れ

故障かな？

仕様

製品保証書

安全上の注意事項

各部の名称

操作方法

お手入れ

故障かな？

仕様

製品保証書

製品保証書

型 式		機番	保証期間
お 客 様	お名前 様		お買上げ日より1力年
	ご住所 〒		お買 上げ日
	電話 () —		* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後7年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーホームマシン 株式会社

本 社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

東京本部

広 域 営 業 部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467
東京営業所/東京ショールーム 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723
名古屋営業所/名古屋ショールーム 〒451-0046 名古屋市西区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677
大阪営業所/大阪ショールーム 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660
福岡営業所 〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1 TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356
福岡ショールーム 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356

20.07 RE